

会 議 の 経 過

1 開 会 午後3時

(教育長) これより第18回倉吉市教育委員会定例会を開会します。

2 前回議事録承認

3 議事録署名委員の選出 高橋委員

4 協議

(1) 令和5年度教育委員会重点施策に基づく実施計画の進捗状況について

(※別冊資料に沿って、各課館所長が所管ごとに説明)

①学校教育課

(学校教育課長 説明)

教育長 最後にもう全体を通してというふうにさせてもらいたと思いますが、学校教育課に対してはいかがですか。

委員 学校教育課の今の説明に対する質問、まず一つ、MIMの活用については、今、各小学校が一生懸命やっておられると思うのですが、幼稚園、保育園、子ども園の年長に対する取り組みというのは、やっておられるのか、これから考えられるのか、こういったお考えなのか、お聞かせいただけますか。

学校教育課長 現状できていることとしては、5歳児健診はもちろん出かけて行って、そこでご相談があった方に対しては教材を提示するというところでやっております。

ただ、保育園の年長児全体に対してという活動はできていないと思います。

委員 せっかく、幼児教育研究会、ここで色々なこれからの計画とか、反省とかされる中で、小学校1年生として、これぐらいはお願いしたいという中で、こういう教材がありますという活用について、おろしてはどうかと思うので、またご検討いただきたいと思います。

学校教育課長 ありがとうございます。担当と共有しましてそのように進めていきたいと思っています。

教育長 そうですね。ただ、学習指導要領上は、ひらがなを身につけるのは、小学校1年生の終わりの段階で100%の子どもたちが身につけるということになっていますので。

ただ、今の時代で、そんな考え方が当てはまらないところは確かにあって、ご指摘の通りなのですが、ちょっと園ともよく相談して、押し付けになってはいけませんし、使い勝手が良くて使いたいと言われるのであれば、いくらかでも提供はできると思います。

委員 やはり1年生を見ていると、トイレにひらがな表があったりとか、絵本を読んだりとか、保護者が何となくひらがなを教えたりしているのを見ると、年長さんの後半の1月2月3月あたりでは、十分理解していただけるのじゃないかなと思いますので。

またよろしくをお願いします。

教育長 はい、ありがとうございます。

(委員 その他意見なし)

②教育総務課

(教育総務課長 説明)

(委員 意見なし)

③社会教育課

(社会教育課長 説明)

(委員 意見なし)

④博物館

(博物館長 説明)

(委員 意見なし)

⑤図書館

(図書館長 説明)

教育長 学校図書館との連携で、司書さんをその担当ということで1人置いています。それに関わる動きで報告いただけることがあれば、お願いしたいなと思います。

図書館長 担当職員を1人置きまして、春には、学校図書館の司書の方と倉吉市立図書館とで会議をもちまして研修計画などを立てました。

夏に2回、合同で研修を行って、来月3回目の合同研修を行うということで、司書同士の連携をしています。

教育長 ご承知の通り、学校の司書は司書資格を持っていない人もあるので、市立図書館が中心になって、支援、指導を引き続きお願いしたいと思います。

昨日北谷小学校に行ったら、司書の仕事がすごく楽しいと言っておられました。そういうこともありますので、どうぞよろしくお願いします。

(委員 その他意見なし)

⑥学校給食センター

(学校給食センター所長 説明)

委員 先日ちょっと社小に伺ったときに、残食率が結構高いとおっしゃっていたのですが、全体的に見るとどんな感じなのでしょう。

学校給食センター所長 過去3年の残食率を調べますと、2年3年4年と少しずつ増えてきている状態ではあります。ただそれは、コロナ禍でもありましたので、お休みされた方の分は給食が届いてしまいますので、それがそのまま返ってきていることも考慮すると、純粋な残食率というのはここ3年間出せてないのではないかと思います。

今年度になってからも、欠席している児童生徒、また最近はインフルエンザの学年・学級閉鎖もありますので、欠席の方が増えていて、残食が目立つというのが印象です。

委員 ということは、正確な数字ははっきりわからない、食べずに残ってしまう、という意味での残食は、正確にはわからないということですか。

学校給食センター所長 そうですね。帰ってきた量は測定して記録はとっているのですが、例えばそのうち何名欠席があった影響だとか、そういうところまでの把握はできておりません。

委員 それは仕方がないことだというのはもちろん承知しています。

子どもにこうやってご飯が食べられるのは当たり前のことじゃないのだよということ

改めて知ってもらって、食の細い子は最初から自分で食べられる量がちゃんと自分で分かって、なるべく残さない、ということを知って欲しかったらいいかなと思っています。

学校給食センター所長 今、先ほど申しました栄養教諭等が学校の方に訪問しているのですが、それは本当に見た印象ではあるのですが、子どもたちはこんなに給食が食べられなかったのだろうかというのが、栄養職員の印象です。

ここ3年のコロナの影響が、活動制限であったり、そういうことによって、食べる意欲とか、そこまで影響しているのではないかとこのことを心配しております、それが何かのデータになっているとか、そういうものではないのですが、ますます自分たちの活動というか、学校訪問が大事になってくるなというのを話しておりました。

委員 活動が減るからお腹も減らないとか、そんな感じですかね。

学校給食センター所長 全ての意欲が、そんなに食べられないかなというのが、私も見てないのですが、職員が申しおりましたのがすごく印象的です。

教育長 どこまで影響するかというのは、はっきりとした根拠みたいなものはないと思いますけどね。ただ学校ごとのデータはありますよね。

学校給食センター所長 あります。多い学校は常に多く、少ない学校は常に少ないです。

教育長 あるいは、もし、学年ごとのデータがあるのであれば、一度委員の皆さんにデータを見ていただいて、共有してもらおうということもして欲しいです。

学校給食センター所長 分かりました。また準備させていただきますので、よろしくお願いします。

委員 活動に必要な量を運んでおられるわけですね。

教育長 はい、計算してあります。カロリー計算は栄養教諭がきちんとやっております。

委員 それを残してしまうのは、カロリーが足りなくなるということですね。

(委員 その他意見なし)

⑦文化財課

(文化財課長 説明)

委員 令和5年度は予算的には改築更新とか、結構なウエイトがあると思うのですが、さっきの説明で、予定通り行われているのもありますし、中には、工期が延びたりとか、何か順調に進んでいないところもあるのですが、それによって利用者の方が制限されるということがあるかもしれないので、なるべくそういうのをなくしてもらおうとか、あと、そういうことがあった場合は、早めに利用者の方に、周知をしていただけたらと思います。

文化財課長 はい。ありがとうございます。

教育長 全体を通してということで何かございませんでしょうか。

委員 関金健康増進施設を、今回LEDに替えるようにされているのですが、何かあの施設自体を今後どういうふうにしていくのかという計画みたいなものはありますでしょうか。

社会教育課長 特別に検討しておりません。

委員 工事監理を含めて1000万近くの予算があるのですが、利用状況も含めて、施設も結構古いので、どういう具合にしていくのか、建て替えをするのか、あのままにしていっても、多分そんなにもう長くは持たない気はしますので、多分、整備計画は出されるので、

盛り込まれているかどうか分からないですけども、古い施設をどうするかということをおる程度出していただいて、ただどこか壊れたと言って、そこだけ直してまたそれから次を直すというのではなく、やはり全体を考えていくと、費用的にも、少しは効率的になるのではないかなと思います。よろしくをお願いします。

社会教育課長 体育施設、他にもたくさんありますが、長寿命化計画などに基づいて、調査期間、工事期間など計画的に進めてまいりたいと思っております。壊れたからそこだけ直すということではなく、計画的に進めてまいりたいと思っております。

委員 1ページ目の、地域学校委員さんの人数をこれから調整されるということだったのですが、これについては具体的に例えば多すぎるとか少なすぎるといったことがあったのでしょうか。

学校教育課長 これにつきましては、学校間の格差がこれまで非常に大きくて、多い学校は10何人というところもありますし、逆に少ないところは、7、8人というところもございました。

たくさんおられるというのも、一つには有りなのかもしれませんが、学校教育課としては、目安として8人程度にしてはどうかということで、学校の方に投げかけさせてもらいました。

当然学校の方からは、今のところは特に反対意見等はありませんので、格差をなくすという意味で、8人程度に揃えていったらどうかということで検討しているところです。

委員 わかりました。ありがとうございます。

教育長 あと、その統合した学校の人数のことも、付け加えてください。

学校教育課長 統合した学校につきましては、まだそれぞれの学校の校区のことはやはりご存知ないということですので、例えば北谷・高城につきましては来年統合しますし、小鴨・上小鴨も統合しますので、その学校につきましては、現在の地域学校委員さんがほぼそのまま残られて、他の学校と比べると倍になりますけども、来年度はそのような人数で進める予定です。

教育長 2年目以降はその1年前の状況を見て、人数を調整していくということでお願いしています。

委員 3ページ、社会教育課、非常に難しいのかもしれませんが、いわゆる地域づくり支援課との連携の中で課題になっているもの、それから、コミュニティセンターの職員さんの定着率は、どうなのかなという。

そのあたりの課題と、それからコミュニティセンターの職員さんの定着率がどうなのかわせてください。

社会教育課長 まず、地域づくり支援課との連携の課題ということですけども、特に大きな問題はないと思っております。

ただ、日々、地域づくり支援課といろいろと情報交換をする中で、小さい課題というのは随時受けておまして、担当課同士のやりとり、コミュニティセンターを含めた担当課同士のやりとりで何とか解決する程度の問題でございますので、大きな問題が発生しているという認識はありません。

それからコミュニティセンター職員さんの定着率ということでございますが、令和3年度から3人目の主事さんをとということでしたが、今、13コミュニティセンターの中で3人の主事さんがおられるのは、はっきりした数字は覚えていませんが、半分くらいだったと思います。

3人目の方が入られても、短期間で辞めてしまわれる方も中にはありまして、改めてハ

ローワークを通じて募集をしてもなかなかというような現状はあります。

定着率が何%というのはちょっとわかりません。

委員さんがおっしゃられるように出入りがあるのは確かでございます、それも3人でしっかりやっているところもあるのですが、出入りがあるところも2人で来てしまっていますが、コミュニティセンターによっても状況が違うのではないかと考えております。

委員

わかりました。

4番の社会教育課のところで、4月から矢印がずっと3月まできていますので、実際どのような活動をやっておられるのか。教育委員になった2年目頃に当時は公民館訪問があったのです。1年間しか見られなかったのですけれども。

地域づくり支援課の方がコミュニティセンターにヒアリングに行ったりとか、定期的に行っているのか、社会教育の方が担当するのか。

要は、あっち任せ、こっち任せにならないように、やはり地域の拠点ですので、そのところをしっかりとケアというか、サポートしていただきたいというお願いです。

あと、コミュニティセンターだよりを毎月読ませてもらうのですけれども、必ずどこかが主事募集をかけているので、大変だろうという気がしております。

現場も大変だなということなので、力になれるような、要するに、市役所の退職されたOBさんとか、実務に長けておられるでしょうから、入っていただくとか、そのような格好で、市全体でのサポートができればお願いしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

委員

委員が主事さんのことを言われたので、関連して言わせていただきます。

公民館主事さんですが、すごく比重が多いというか、とても大変そうな仕事をしている感じが見えるのです。

ちょっと地元の主事さんに聞いた話では、コミュニティセンターの主事さん同士の交流をされている中で、よその話を聞くと、割り切ってスパッと「今日の仕事は終わり」とされているところもあると。

けれども自分たちはそれができないと言われていました。私が以前に関わっていた地域の事業において、主事さんがいらっしゃらないと、もう全く仕事が進まないことが結構あって、細かい連絡とか、印刷物、資料を作るのももちろんですけど、本当だったら自分たち役員でしなければならないところまで主事さんが引き受けてくださっていて、結局主事さんは9時5時では終わらず、家に持ち帰って仕事をし、もし残業していれば近所の人には「いつまで電気点けているのか」と言われることもあったようです。そんなことをせずに仕事ができているところがあるのであれば、同じようにできればいいのにと考えています。

社会教育課長

館長さんは館長さんで定期的に集まって会議をして意見交換しておられますし、主事さんも、毎月というわけではないのですが、意見交換の場、主事研修会という名前で集まっておられて、そういう場所、そういう機会をとらえて、他のコミュニティセンターの仕事のやり方ですとか、自分たちの課題意識を持っていることについて解消できるような話し合いとかする場というのは作ってはいるのですけれども。

何となく昔から、こちらのコミュニティセンターはこういう雰囲気とか、ここはこういうやり方とか、例えば、地域住民の方の協議ですとか、打ち合わせは全部コミュニティセンターの主事にお任せしているのです、地域の活動団体にやってもらう、分担するとかいうことがなかなかできないような地域もあれば、その役割分担がうまくできていて、地区

の何々部にはここまでやってもらうけども、あとはコミュニティセンターの職員さんがするとか、うまくその分担ができていところもあると思うのですが、いかんせん何というか、旧態依然の古い慣習という部分も中にはあるのかなという感想ではあります。

色々な機会をとらえて解消してもらえるように、負担にならないようにしていきたいと思います。

委員

少し私たちも頼り過ぎたかなという、それできているからそうなのですよ。

教育長

本来はそれぞれの団体が自主的に運営して下さるような、公民館の時代からこれを自主的にお願いします、ここまではお手伝いできますということを手伝っておられるところ、と言われるようにコミュニティセンターの主事さんがほぼ受けて、なかなかその地域の団体の自主性が育たないままで、これはやはりちょっと地域差があると思います。

繰り返しになりますけど、本来のねらいは、それぞれの地域のそれぞれの団体が、自主的に動いてもらうことで、それぞれの地域が元気になるということだと思っています。

委員

これはこちら側にも責任があることだと思っています。

委員

今のは大きな課題ではないですか。行政側と教育委員会とのそれぞれの担当部署が話をし、それこそ働き方改革ではないのですが、各団体の人材育成を含めて、ここからは各団体とか切り分けを本来館長がしないといけないのではないですか。

館長がきちんと組織運営をしていただけるようなサポートを、それぞれの行政と教育委員会の方でしてあげていただきたいと思っています。

教育長

他にはいかがでしょうか。

委員

非常によくまとまって、年々バージョンアップしているのではないかと思います。

予算対比と見ながら、もうちょっと欲を言えば、学力向上で5年度の予算で、例えば1億はこの項目に入っていると分かるかとは思ったのですが、良くなった分、字が小さくなって。

今後の課題でお願いし、検討していただきたいのは、例えば写真で見る倉吉70周年の講座がありましたよね。

こういったのが、子どもたちの学校でのふるさと学習に生かせないのかなという。

いわゆるその大人とか、社会人向けはもちろん、その中で、学校向けにできるような講座があれば、博物館も含めて、短大とか学校の社会教育も含めて講師として来ていただいて、話をさせていただくと、そうすると倉吉市の70年、こういう歴史だったのかなとか、過去を振り返って家に帰って、今日琴桜のパレードの写真見てきたとかですね。

そんなことに繋がれば学校側も教育委員会のこの課に任せて、みたいな格好でできると思うのですよね。

そういったことが、来期になるかもしれませんが、ご検討いただければと思います。

教育長

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

なければですね、ちょっと今の委員の意見を聞きながら思ったのですが、これは私の反省ですが、今日、課ごとに関係するところを全部最初に発表してもらいました。

そうではなくて、1から5まで大きい項目があって、この1の項目については、何課・何課がこういう事業を取り組んでいますという、そういう発表の仕方をしてもらったほうがいいのかと思ひまして、私の反省です。

最終的に年度末の評価の時には、そのようにさせていただくかもしれません。

また、どのような進め方が良いのか、ご意見があればいただきたいと思っています。

委員

それから11ページの学校の適正配置の推進で、口頭でお話しされましたけども、成徳

小学校の校名変更については計画に上げておかれた方がいいのではないかと。追加で下期の方ですから。

教育長 他にはよろしいですか。

委員 給食センターさんも学校訪問されていますし、それから後で出るかもしれませんが、図書館のスタンプラリーもやはりスタンプ押してもらおうと、60 過ぎててもやはり嬉しいですね。行こうという気になります。

そういった意味合いで、いわゆるあまりお金かけなくても、モチベーション上がるような施策打っていただければというふうに思います。

(委員 その他意見なし)

(2) 令和6年度当初予算要求について

(教育総務課 説明)

教育長 前回お配りした予算関係の資料を見ていただいてということですね。

委員 5年度の予算、これを参考にということですか。

教育総務課長 今年度はそういう予算がありますけども、来年度はもう少しこういう事業に取り組んでほしいとか、もう少し精査したほうがいいのではないかとということがあれば、そういうことを、金額が幾らとかということではなく、事業の内容、予算を見るようなことを書いていただければと思います。よろしくをお願いします。

教育長 よろしいでしょうか。

結構厳しい。レベルが高いと思います。

教育総務課長 現行の予算をもう少し手厚くしてはどうかとか、必ずしも実行するということではないのですけど。委員の皆さんの意見として、ここにも予算措置して欲しいというようなことがあれば挙げていただきたいと思います。

教育長 趣旨は、前回も申し上げましたけど事務局が予算立てをします。積算をして、これはこういうふうにしようと。その部分に、教育委員さん方の意向なり、お考えを、少しでも盛り込むことはできないだろうかというところで、今回このように試みてみようかということになったのですけど。書いていただける範囲でいいですよ。

教育総務課長 はい、なかなか難しいと思いますけども。

補佐

(委員 了承)

教育長 ちょっと試みていただくという程度でお願いをしたいと思います。

(委員 その他意見なし)

5 教育長報告

(報告資料により教育長説明)

教育長 ここに書いておりませんが、11月6日から文部科学省の職員が1ヶ月研修ということで、学校教育課に来られます。国の職員が市教委に来ていただいて、研修をされるということはすごいチャンスなのです。

図書館にすごく興味持っておられるということなのですが、色々な会議だったり、計画訪問も、もちろん行きたいと言っておられますし、そういうところで、実際に、市の教育委員会はどんな動きをして、どんな課題を持って、どんなことをねらっているかという

ようなことを分かっていただけるというのは非常にありがたいと思っています。

ひょっとしたら、定例教育委員会にも出席をしていただくことになると思いますので、ご承知ください。

(引き続き、校長会資料の説明)

委員 中部の高校の中で、今日新聞で倉吉北高が女子野球部ということで、単独で残っている島根県の川本町が女子野球部で時々テレビに出たりしていますので、地域の中で応援できるようなことがあれば、それを目玉に生徒が全国から集まってきて、なおかつ学力も向上していくという流れになればいいなあとと思って記事を見ました。

教育長 それから女子の硬式野球の方の話ですけど、今、結構全国的にはブームになっているみたいで、今日の新聞記事にも書いてありますけど、一定数の要望というか、やりたいと思う女子高校生がいるらしいので、おっしゃるように、生徒が集まることに繋がってくればいいなと思っています。

委員 リトルリーグでやっていたその子たちが集まってきて、入ってくればいいと思います。

教育長 スポーツ少年団の学童の軟式野球の大会に、しょっちゅう呼ばれていくのですが、女子が沢山います。小さい子から6年生まで、このチームにいる、こっちにもいる、という具合に。最近多いです。

委員 うちの子もスポ少の野球しているのですけれども、各チームに1人2人は絶対、女の子がいますので、そういう子が育って行って、また地元で進学するとなったら、選択肢のうちの一つかなと思いますので、ぜひ活躍してもらいたいですね。

教育長 みんなで応援しましょう。

委員 さっきの東高のバカロレアというのを。ごめんなさい、ちょっと勉強不足で。

教育長 あんまり詳しい説明すると多分ものすごく時間がかかるのですが、大学の入試をするときにバカロレアというこの学習プログラムがあって、それは社会貢献だとか国際平和だとか、或いはディベートみたいなこともあるのですが、そういうプログラムを学んで行って、高3の段階でそのバカロレア資格を取るという試験があるのです。

そのバカロレア資格を取るための試験に合格すると、例えばハーバードだとかオックスフォードだとか、ああいう大学を受験する時に有利になる。だからもう日本の大学だけを目指しているわけではありませんよという。

それはこのバカロレアの資格は国際規格なので、世界中どこでも通用します。

委員 資格を取るための勉強をするということですね。

教育長 詳しくというか、本当は高校だけではなくて、小学校段階からこのバカロレアに係るプログラムがあって、中学校段階、高校段階にあってという、ずっとこういうふうに取り組んでおられる学校も、日本の中には私学が多いのですが、そういうところは授業料も高いですけど、どんどんやっておられます。

委員 先駆けて、県内では倉吉東高だけ。

教育長 山陰地方では倉吉東高が初めて。ですから期待しているのです。

東部西部からだけではなくて、県外からも、そこを目指す生徒が集まるようになればいいなと思っているのですけど。

委員 中部からも、東西部の高校に行ってしまうと、倉吉東校の倍率が低くて入れそうだから受けようみたいなことを聞くので。優秀な人材が集まってくればいいですね。

(委員 その他意見なし)

6 報告事項

(1) 社会教育課

① 令和5年度倉吉市民体育大会の実施結果について

② 倉吉市体育施設指定管理者の選定について

(資料により、社会教育課長説明)

委員 選定理由のところ、デジタル等のIT化はわかるけど、食堂のリフォームによるワーキングスペースとしての利用等の、こういったものの設備の改築というか、これは候補者の方が費用負担するというところで理解すればいいのですか。

社会教育課長 はい、その通りです。

委員 地元の企業さんですし、いいなと思いますが、経営能力、1点低いということがあります。

それから、事業計画は3点高いのですが、管理体制とか職員雇用とか、保安警備、こういったところが未知数という気がしますので、議会の承認ということになるのでしょうか、そこのところ、決まればサポートというか、指導をしっかりと、1年2年はしっかりと検証ウォッチをしていただきたいと思います。

社会教育課長 はい。ありがとうございます。

委員 今更という感じなのでしょうが、さっき女子野球の話も出ましたが、部活動ってなかなか維持できないじゃないですか。

昨日、外部指導者としてバドミントンの指導しておられるという話から、部活動はどういう感じになっているのですか。各学校みんなが集まって一つのチームを作りたいな事になっているのですか。

教育長 そうなっている部もあります。部によってです。

例えば野球で言えば、9名野球部員がそろわないという場合には、どこかの学校と合同チームを作って大会には出ます。

自分の学校でその必要な人数が賄えるところは、単独の学校で試合にできます。

委員 ということは、その年によって、今年は大丈夫だけどその次の年は駄目だということもありますか。

教育長 あります。だから、一緒になる学校が変わることもあります。

委員 指導される方は、教育委員会というか…。

教育長 部活動ですから教員です。合同チームであっても。

委員 合同チームでも、教員の方がですか。

教育長 部活動ですから、それぞれの学校の顧問が指導します。

委員 その一つの学校に集まって。

教育長 はい。だから普段はそれぞれの学校で練習しているのですが、月に何回かは、一つのチームにならないといけないですから、合同練習をして、試合に臨める体制を作る。

委員 学校でそのチームが維持できないから、それでクラブチームに行ってしまう子が今すごく多い。友達が行くから自分も行こうみたいな、そういう感じの子が例年続いていて。

教育長 それはどっちかわかりませんが、今、野球に関して言えば、硬式野球に流れる傾向があるので、学校の方の軟式野球部が成り立たない。

委員 硬式野球を目的としてやっているのですかね。

教育長 倉吉ボーイズという、倉吉市内で。

委員 それですね、倉吉ボーイズにってしまうので。

教育長 倉吉ボーイズは大会を主催されますから。
中四国ぐらいの範囲に声かけて大会をされたり。

委員 何かそれも一つ、学校のその部活が維持できない理由なのかなと思ってしまう。
こっちは野球ができないからあっちに行こうという。
多分、軟式野球と硬式の違いはあるけれども、人数がそろっていて軟式ができるのだったら、こっちには行かないこともあるのではないかと思ったりして。

教育長 両方だと思います。それから保護者がどう考えられるかということも、かなり影響大きいです。本来は本人のはずなのですけど、やはり保護者が一生懸命もう硬式で頑張れと言われているケースもあるように見受けられます。
ですから、学校や教員がこっちにきなさいとは言えません。

委員 その先生方も、もう部活はボランティアと聞いていますので。

教育長 ほぼボランティアです。

委員 大変だなと思いつつ。よろしくお願いします。
(委員 その他意見なし)

(2) 文化財課

- ① 重伝建選定 25 周年・町並み保存会設立 20 周年記念フォーラムについて
- ② ライオンズデー「法華寺畑遺跡周辺清掃整備活動」について
- ③ 倉吉淀屋 秋を楽しむ「邦楽演奏会」について
- ④ 倉吉淀屋 秋を楽しむ「倉吉絃展示会」について

(資料により、文化財課長説明)

委員 一つだけ、7 ページの中の 20 周年記念フォーラム、非常によかったと思いますが、コメントーター、司会者の方の仕切りが、もう一つだったのかなという。
時間がちょっと押していましたが、もう少し発表者の 3 人さんのそれぞれの立場からの意見交換が聞きたかったなと若干思っていました。でも非常に内容は良かったです。

文化財課長 ありがとうございます。
(委員 その他意見なし)

(3) 博物館

- ① 倉博物館講座④「心はじけるアート～花火のガラス絵」事業報告について
- ② 倉博物館講座⑤「空想から工作感触へー大坂弘道のころとかたちー」事業報告について
- ③ 自然ウォッチング⑥「土星と上弦の月をみよう」事業報告について

(資料により、博物館長説明)

(委員 意見なし)

(4) 図書館

- ① 放送大学鳥取学習センター

印刷教材受贈式及び放送大学出前講座について

(資料により、図書館長説明)

(委員 意見なし)

(5) 学校給食センター

① くらよし食育だより10月分について

(資料により、学校給食センター所長説明)

(委員 意見なし)

(6) 市民からの声対応状況について

①市民相談(市民相談窓口等)

②電話相談

(資料により学校教課長説明)

(委員 意見なし)

8 その他

①総合教育会議について

②打吹公園だんご教育奨励賞選考委員の選出について

教育長 事務局の方から、説明をお願いします。

(今後の予定について教育総務課長説明)

教育長 それでは確認ですが、12月の定例会は12月26日火曜日の1時から大会議室です。その後、3時から総合教育会議に移行するということですね。

教育総務課長 はい。

教育長 本当に何回も何回も会議や学校に行っていたら申し訳ありません。

教育総務課長 総合教育会議ですけども、議題についてはこれから各課館所から出して、市長の方からも議題をいただきたいと思うのですが、教育委員さんの方からも何か話し合いたいような案件がありましたら、臨時会の際にでも報告いただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

あと最後、毎年「打吹公園だんご教育奨励賞」ということで、選考会についてですけれども、選考委員について、女性登用率を上げるために教育委員の代表として女性委員をお願いしたい。

教育総務課長 教育委員の代表として、去年までも女性の教育委員になっていただいております。その後任といたしまして、女性委員のお二方のどちらかに選考委員をお願いするものです。

補佐 まず、公園だんご教育奨励賞が何か説明しないと、選考委員になってくださいだけでは無理です。

(打吹公園だんご教育奨励賞について説明)

教育長 学校が推薦した子が、「打吹公園だんご教育奨励賞」にふさわしい子どもかどうかのご判断をいただきたい。

委員 ということは、中学校が5つと、小学校が12、17人上がってくるのですね。

教育長 学校代表1人ずつですから、上がってきた17人が受賞に該当するかどうかのご判断を。

委員 ふさわしいかどうかを判断する。

教育総務課長 この場で決めていただけたらありがたいです。

委員 ちなみに小学校中学校の校長先生というのは、ご担当も決まっておられるのでしょうか。

教育総務課長 今は校長会の会長ということで、春の段階で割り振りされているようですが、校長会からも女性委員さんを出していただきたいとお願いしているところで、校長会で検討していただけたということは聞きました。任期満了に伴って、どの委員も今回新たに委員さんを

委嘱します。

委員

わかりました。では順番で。

教育長

よろしくお願いします。ありがとうございます。

(委員 その他意見なし)

9 報告事項

(1) 学校教育課

- ① 区域外就学・校区外就学の承認について
- ② 不登校・問題行動の状況について
- ③ 学校事案について

【以下、非公開】

【以下、公開】

教育長

今日も長時間ありがとうございました。以上で閉会いたします。

次回委員会について調整し、次のとおり決定

・倉吉市教育委員会12月定例会

日 時：令和5年12月26日（火）午後1時00分

場 所：倉吉市役所 大会議室

10 閉会